

# ベイズモデル

樋口さぶろお

龍谷大学大学院理工学研究科数理情報学専攻

理論物理学特論 L12(2016-01-07 Thu)

最終更新: Time-stamp: "2016-01-09 Sat 04:56 JST hig"

## 今日の目標

- ① 一般化線型モデルのベイズモデルを説明できる
- ② 一般化線型混合モデルの階層ベイズモデルを説明できる



<http://hig3.net>

## L11-Q1

## Quiz 解答:条件付き分布

①

$$P(X = x) = \begin{cases} \frac{7}{12} & (x = 2) \\ \frac{5}{12} & (x = 3) \\ 0 & (\text{他}) \end{cases}, \quad P(Y = y) = \begin{cases} \frac{3}{12} & (y = 3) \\ \frac{9}{12} & (y = 7) \\ 0 & (\text{他}) \end{cases}$$

②

$$P(X = x|Y = 3) = \begin{cases} \frac{2}{3} & (x = 2) \\ \frac{1}{3} & (x = 3) \\ 0 & (\text{他}) \end{cases}$$

$$P(Y = y|X = 3) = \begin{cases} \frac{1}{5} & (y = 3) \\ \frac{4}{5} & (y = 7) \\ 0 & (\text{他}) \end{cases}$$

## L11-Q3

## Quiz 解答:ベイズの公式

①

$y \backslash x$	1	2
10	21/40	4/40
20	9/40	6/40

②

$$P(X = x | Y = 10) = \begin{cases} \frac{21}{25} & (x = 1) \\ \frac{4}{25} & (x = 2) \\ 0 & (\text{他}) \end{cases}$$

## ベイズ的な考え方

事後確率  $P(X = x|Y = y)$ 

←

事前確率  $P(X = x)$ 

↑

情報  $Y = y_1, \dots$ 法則  $P(Y = y|X = x)$ 

主観確率

ベイズの定理=ベイズの公式 (+ニュアンス?)

## L12-Q1

## Quiz(正規分布の母平均値のベイズ推定)

確率変数  $Y$  は, 正規分布にしたがう. すなわち,

$$p(y|q) = \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} e^{-\frac{(y-q)^2}{2\sigma^2}}$$

母平均値  $q$  のベイズ推定を考える.

事前分布を

$$p(q) = \frac{1}{\sqrt{2s^2}} e^{-\frac{q^2}{2s^2}}$$

とする.

- ①  $Y$  のサイズ 1 の標本として,  $y$  が得られたとき,  $q$  の事後分布を求めよう.  $q$  の母平均値, 母分散を求めよう.
- ②  $Y$  のサイズ 2 の標本として,  $y_1, y_2$  が得られたとき,  $q$  の事後分布を求めよう.  $q$  の母平均値, 母分散を求めよう.

## L12-Q2

## Quiz(2項分布の母平均値のベイズ推定)

確率変数  $Y$  は、2項分布にしたがう。すなわち、

$$p(y|q) = \binom{N}{y} q^y (1-q)^{N-y}.$$

パラメタ  $q$  のベイズ推定を考える。

事前分布をベータ分布

$$p(q) = \frac{1}{B(a, b)} q^{a-1} (1-q)^{b-1}.$$

とする。ただし、

$$B(a, b) = \int_0^1 q^{a-1} (1-q)^{b-1} dq = \frac{\Gamma(a)\Gamma(b)}{\Gamma(a+b)} = \frac{(a-1)!(b-1)!}{(a+b-1)!}.$$

- ④  $Y$  のサイズ 1 の標本として、 $y$  が得られたとき、 $q$  の事後分布を求めよう。

## 連絡

- オフィスアワー月 4 木 6(1-502)
- 2016-01-14 木 1, 2016-01-補講 は実習室 1-612.